

名 称	令和３年度 第１回 目黒区障害者自立支援協議会 本会議
日 時	令和３年１２月２１日（火）午後６時～午後７時５５分
会 場	目黒区総合庁舎４階「特別会議室」
次 第	1 開会 2 委嘱 （１）委嘱式 （２）会長・副会長の選任 3 報告事項・議題 （１）区からの報告 （２）専門部会からの報告・議題 ・専門部会からの活動報告 ・今後の専門部会の活動について （３）運営会議からの協議事項 ・障害者自立支援協議会休止中における各事業所の活動について ・今後の目黒区における障害福祉 4 その他 5 閉会
出席者	委員：岩崎委員（会長）、北本委員（副会長）、新開委員、山本委員、会田委員、三木委員、池田委員、阿部委員、白濱委員、徳永委員、松原委員、野村委員、渥美委員、岸井委員、征矢委員、本間委員、田村委員、田島委員、河手委員、橘委員（保健予防課長・碑文谷保健センター長）、田中委員（障害施策推進課長・障害者支援課長）、篠崎委員（子育て支援課長）、細野委員（教育支援課長） その他区職員：浦野（身体障害者相談係長）、石田（知的障害者相談係長）、田所（精神障害福祉・難病係長）、今井（発達支援係長） 事務局：山崎（計画推進係長）、増淵（計画推進係）、盛岡（基幹相談支援センター）、蒲生（基幹相談支援センター）、竹本（基幹相談支援センター）
配布資料	資料１－１：精神障害者地域移行・地域定着推進連絡会 資料１－２：発達障害支援拠点 資料１－３：地域生活支援拠点 資料１－４：基幹相談支援センター 資料２：専門部会からの報告（第１回運営会議） 資料３：専門部会からの報告（第２回運営会議） 参考資料１：目黒区障害者自立支援協議会設置要綱 参考資料２：令和３・４年度 目黒区障害者自立支援協議会 委員名簿 参考資料３：第１回 目黒区自立支援協議会本会議 席次表 机上配布資料：目黒区精神保健医療福祉推進協議会の設置について

1 開会

健康福祉部長から挨拶を行った。

2 委嘱 ※参考資料2 参照

(1) 委嘱式

令和3・4年度の目黒区障害者自立支援協議会委員の委嘱、及び事務局・障害者支援課各相談係長の紹介を行った。

(2) 会長・副会長の選任

以下のとおり決定した。

会長：岩崎 香（早稲田大学人間科学学術院 教授）

副会長：北本 佳子（昭和女子大学人間社会学部 教授）

3 報告事項・議題

(1) 区からの報告 ※資料1-1～1-4 参照

委員（障害施策推進課長・障害者支援課長）

各事業の令和2年度・令和3年度上半期の実績報告。併せて、新型コロナウイルス感染症の影響により、協議会が休止している間の行政の動き（基幹相談支援センターの開設・就労継続支援B型「おむすびカフェ 米創庵」の開設・福祉の店「COHANA（コハナ）」の開設）について報告。

(2) 専門部会からの報告・議題 ※資料2・3 参照

・専門部会からの活動報告

相談支援部会

令和2年度は、区からの要請により活動休止。

現在の部会員の抱えている状況・部会活動に求めるものについて、アンケートを実施した。

現在の参加事業所は15事業所27名。

高齢化・グループホーム対策部会

グループホーム対策については、日中の施設とグループホームで従事している職員の活動時間が異なり、部会内で十分に協議できていなかったが、課題や期待が高まってきているため、グループホームの職員の参加を促しているところである。

目黒区や国の施策・制度に意見が出せるように動いていきたい。

一般就労部会

一般就労部会長白鳥委員欠席のため、書面報告を行った。

施設就労部会

令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により活動を中止。

令和3年11月18日に部会を開催した。出席者は7名。

現状の課題の話し合いを行った。専門部会の再編成については、検討していない。部会の活動を軌道に乗せることを優先したい。

	<p>コロナウイルス感染症の影響で、外部での販売が厳しい。工賃の額も減少し、受注作業も減っている。加えて、新しい受注作業の開拓が難しく、事業所の生産活動が厳しくなっている。</p> <p>子ども部会</p> <p>令和２年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により活動を中止。</p> <p>令和３年度は、１０月より部会の活動を再開した。事前にアンケート等を実施し、１５名全員が今後の活動参加を希望していると確認した。</p> <p>既に１０～１２月の間で部会を３回行い、近況報告を行った。次回の部会では、子ども部会の進め方について協議予定である。子ども部会には、各関係機関が参加しているため、各々の立場で意見交換を進めながら社会資源の開拓、課題解決を行っていききたい。</p> <p>意思疎通支援部会</p> <p>意思疎通支援部会長江見委員欠席のため、書面報告を行った。</p> <p>防災部会</p> <p>部会長不在であるため、徳永副部会長より報告。</p> <p>防災部会は、共有テーマ・意見も広範囲であり、計画が続けられる場所として、常時課題としていた。</p> <p>資料で報告している課題を中心として、専門部会の再編成を希望している。</p> <p>・今後の専門部会の活動について</p> <p>委員</p> <p>防災部会の再編成について、ＢＣＰの問題は施設就労部会内でも話が出ている。部会の形になるかは不明だが、合同で活動する機会は設けられると思う。</p> <p>委員</p> <p>計画に反映すべき課題が明確で無く、課題が整理できていない。住民・行政・消防・事業所等含め、目黒区でどのように生活していくか考え、整理したい。協議会全体で意見を出して持っていけたら理想だが、本会議は年２回の頻度であるので、協議会本会議までに課題の整理や、情報収集というのは防災部会で行い、本会議で防災について議論したい。地域課題の抽出や意見を反映していきたい。協議会全体の中で、防災をテーマとして協議していくことは、関係機関が集まっているからこそ良いと思う。</p> <p>副会長</p> <p>資料３意思疎通支援部会からの報告にて、毎回活動報告のようになっていると記載がある。多障害の部会であり、支援方法も異なるため、情報収集のため活動報告はある程度必要である。</p> <p>１つのテーマを議論し、繋げていくことは難しい。年にテーマをいくつか決め、各部会でそのテーマを考え、運営会議にて報告し、共通問題があ</p>
--	---

れば本会議にて報告する。再度、部会長が協議内容を部会に持ち帰り、議論していくのはどうか。

協議会の役割として、地域の皆様の理解、啓発活動がある。例として、基幹相談支援センターとの連携をどうするのか、テーマの柱にするのも良いと思う。地域審議会や政策に反映していく流れが出来れば良い。

会長

「協議会とは」というのを、運営会議で話し合う必要があるが、本会議が果たす役割を委員の皆様にも一緒に考えてほしい。

委員

部会員へのアンケートにて、「障害者自立支援協議会の活動内容が不明である」「何を議論すればいいのか不明である」との意見があった。また、利用者からも「障害者自立支援協議会のことを知らない」との声がある。障害福祉や地域に住み続けるためにどう協議していくのか。活動目的が不明なので意見もが出てこない。

相談支援部会は、部会の再編成については考えていないが、部会の交流は運営会議のみであるため、情報共有し、各部会が何をやっているのか把握できると良い。防災については、障害福祉に限らず全て生活していく上で密接である。情報発信を行える場所である運営会議において、どのような形で発信していけるか、協議したい。

委員

部会を義務だと思いと、盛り上がらないことがある。課題を持ち寄って発表し、課題の共有、相談、知恵を出し合う。部会に参加してよかったと思えるようなものを積み上げていきたい、というのをベースで活動している。

積み重ねていくと、共通していく課題とか出てくる。部会の中だけではなく、包括支援センター等にも参加してもらい、勉強・相談会をしていく。少しずつ積み重ねていって、目黒区・国の政策に影響与えられるように動いていきたい。

会長

改めて、協議会を立ち上げ直していくことが大事であると思う。行政の意見はどのようなものか。

委員（障害施策推進課長・障害者支援課長）

新型コロナウイルス感染症の影響により、令和2年度から協議会の活動休止を要請し、活動再開を今年度から依頼した。部会の再編成については、活動休止前の令和元年度の本会議で協議していたと聞いている。行政も自立支援協議会の在り方を一緒に考えていく良い機会。目黒区障害者自立支援協議会を設置してから10年以上経つため、改めて再考していくことは大事だと思う。

会長

協議会の歴史の中では、基幹相談支援センターが一番新しい資源。事務局も担っていったりと聞いているが、どう考えているのか。

	<p>委員 各部会に参加し、積極的に参加し、良い機会・会議にしてい。少しでも全体で話し合えるようなテーマや協議会とは何かというテーマで協議したい。</p> <p>会長 他の委員の皆さまはどうでしょうか。</p> <p>委員 世の中の人や、障害のある人のことを知らない人たちに、障害のある人のことを、少しでも分かってもらうことが大事だと思う。子どもの頃からの教育や環境が大事である。</p> <p>委員 部会は共通理解を深めたり、課題を本会議に挙げて深めてみたり柔軟でいいと思う。 様々な中から、大事なことを拾って、キーパーソンになる委員が話し合うことで、委員全体でパワーアップしていくためにこの場があると思う。</p> <p>委員 去年と比較すると、障害者の求人数が3割程度増えているが、新型コロナウイルス感染症拡大前と比較すると、3～4割減少している。求人数が追い付いていかないというところが危惧されている。</p> <p>委員 障害者団体懇話会としても活動し、どうしたら福祉が進むのか、という点を相談している。自立支援協議会でも重複した内容が協議されていると感じる。例えば、子ども部会で出している要望が、懇話会での要望として出し、団体内で検討していた内容と重複していたことを自立支援協議会委員になって初めて知った。当事者・家族が協議会のことをもっとよく知る機会を設けてほしい。</p> <p>委員 相談支援は重要である。家族の立場からすると、親亡き後の子どものことを考えると、とても子どものことが心配である。 自立支援協議会では、事業所も参加しており、是非相談支援の勉強をして欲しい。また、相談支援は大変だが、予算もあまり無く大変であると感じている。</p> <p>会長 相談支援はサービスの出発点であり、とても大切である。相談支援事業所のサポートの役割として基幹相談支援センターがある。 これから、皆でそれぞれ事例を出し合って部会で課題共有をしていくもいいと思う。 以下の議題については、時間が足りず議論できなかった。</p> <p>(3) 運営会議からの協議事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 障害者自立支援協議会休止中における各事業所の活動について ・ 今後の目黒区における障害福祉
--	---

	<p>4 その他</p> <p>委員（碑文谷保健センター長・保健予防課長） ※机上配布資料参照 目黒区精神保健医療福祉推進協議会の設置について情報提供。</p> <p>委員（障害施策推進課長・障害者支援課長）</p> <p>令和3年度第2回目黒区自立支援協議会本会議については、来年3月2日（水）に開催予定</p> <p>5 閉会</p> <p>副会長</p> <p>委員の皆さんの意見を聞いて、自立支援ということを大切にしたい。色々なものが含まれていると感じた。時間が足りず、話せなかったが、人材確保についても協議していくと良い展開になるのではと思う。</p> <p style="text-align: right;">以 上</p>
--	--